

マグカルシアター参加公演

奥山真佐子ひとり芝居

別れ霜

原作：樋口 一葉 / 脚本：英次 ともゑ / 演出：鈴木 龍男

婚礼の日を指折り数え心待ちにしていた芳之助とお高。
それを知りながら、お高の父親は自分の金欲を優先して…



2019年

7月4日 木 (午後6:00開場)
午後6:30開演

5日 金 (午後1:30開場)
午後2:00開演

会場 神奈川県立青少年センター
スタジオHIKARI

主催 神奈川県 / いちまるよん





ひぐち いちよう
樋口一葉 (1872年~1896年)

甲州市塩山出身の両親を持ち、東京に生まれる。14歳で歌塾「萩の舎」に入塾。父の他界後、小説家として一家を支えるべく半井桃水に師事。19歳で処女作「闇櫻」脱稿。数々の小説を発表するが、生活の糧となるには届かず下谷龍泉寺町に転居し商売を始める。10ヵ月足らずで店を閉じ本郷に戻り、龍泉寺町での暮らしを題材に小説「たけくらべ」を発表する。森鷗外、幸田露伴らに絶賛される。しかしながらその年の11月23日、肺結核により24年の生涯を閉じる。2004年11月、五千円紙幣の肖像となる。日本で初めての女性職業小説家。



おくやま まさこ
奥山真佐子 <樋口一葉・新田高・松沢芳之助>

甲府市出身。文教大学文芸科卒。マキノ雅弘、山田五十鈴、金子信雄、丹阿弥谷津子各氏に師事。現在、失われつつある美しい日本語で表現されている樋口一葉の小説、その日記を伝え続けて22年。奥山が行う一葉の原文に注釈や工夫を加えての〈朗読〉、及び生演奏と共演の〈ひとり芝居〉では、黙読では得られない一葉小説の世界が堪能できる。2016年三越劇場にて、一葉没後120年記念で行われた「ひとり芝居3日3作品連続公演」で多大な好評を得る。NHK「武田信玄」「あぐり」、黒澤明監督「まあだだよ」外務省制作映画「東京24時」等に出演。NHK「夢見る葡萄」「花子とアン」「とと姉ちゃん」の山梨ことば指導を担当し、奥山の提案による「てっ」「こびつ」は、流行語大賞にノミネートされた。出演舞台「生きてゆく私」で御園座社長賞(演技賞)、一葉作品連続公演に対して〈細うで繁盛記賞〉、「花子とアン」山梨ことば指導に対して首都圏甲府会会長賞を受賞。新人俳優への指導にも定評を得ている。



ふじまつ えんみょう
富士松延明 <新内>

新内相模派富士松延治太夫社中、新内三味線名取、師範。4歳よりピアノをはじめ、演奏、グループアンサンブル、作曲レッスンを受ける。昭和音楽大学作曲学科卒。横浜市音楽祭こけら落とし公演「横浜はじめて物語」、IFOCOMサミット、板橋おやこ劇場山本周五郎作「ゆうれい貸家」、劇団銅鑼「ひめち」、試演会「僕を待つ部屋」、川口圭子一人芝居「花いちもんめ」、淑徳大学表現学科演劇発表レクチャー、文化庁主催「やってみようプロジェクト」ほか様々な演劇、朗読の音響、音楽を手掛ける。三味線、ピアノ講師、作曲家。

奥山真佐子ひとり芝居 ~ 次回公演のご案内 ~

樋口一葉の世界2019◆三越劇場10年連続記念公演

<奥山真佐子ひとり芝居> 「一葉日記 そして 別れ霜」

原作：樋口一葉／脚本：英次ともゑ／演出：鈴木 龍男
共演：新内=富士松 延明／箏=内藤 眞代／笛=福原 清彦

2019年
9月14日 土 (午後2:30開場) 料 金 6,000円
午後3:00開演 (全席指定・税込)
MITSUKOSHI
三越劇場
〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店 本館6階



ご予約・お問い合わせ

- 河佐井プロモーション
TEL 03-6454-1955 (平日11:00~19:00)
- いちまるよん
FAX 0467-24-1900
インターネットご予約 info@okuyama104.com
- 三越劇場
TEL 0120-03-9354 (10:00~18:30)
インターネットご予約 http://mitsukoshi.mistore.jp/bunka/theater/
【三越劇場の前売開始は7月1日(月)午前10:00~ 初日はお電話・インターネットご予約のみ】

企画・制作 いちまるよん

マグカルシアター参加公演

奥山真佐子ひとり芝居 別れ霜

原作：樋口一葉／脚本：英次ともゑ／演出：鈴木 龍男

「別れ霜」は、明治二十五年(一八九二年)に一葉が執筆した二作目で、(浅香のぬま子)の筆名で発表された新聞小説です。
《あらすじ》
呉服店を営む新田家の一人娘お高は心優しく芸事にも秀でた近所でも評判の美しい娘。八歳の時、許嫁の約束を交わした本家の一人息子 松沢芳之助と互いに想い合い、夫婦となる日を心待ちにしていた。
お高が十六歳、芳之助が二十歳となり婚礼目前と思われたある日、先祖代々助け合ってきた両家に、金欲にかられたお高の父による事件が……。
運命に翻弄されながらも、お高がくだした決断とは……？

7月4日 木 (午後6:00開場)
午後6:30開演
7月5日 金 (午後1:30開場)
午後2:00開演

会場 神奈川県立青少年センター
スタジオHIKARI



料 金 一般 3,000円 / 高校生以下 500円
(全席自由・税込)

主 催 神奈川県 / いちまるよん

お問合せ いちまるよん

TEL : 045-290-5877
E-Mail : info@okuyama104.com
奥山真佐子ホームページ
http://www.okuyama104.com/



所作指導：花柳 奈千穂 / 照明：須藤 実 / 制作：根本 三四子
美粧：浅利 悦子 / 助手：野秋 美和 / 舞台監督：TAKE4

資料提供：樋口 智子さま

協力：文京区法真寺 / 台東区一葉記念館 / 鎌倉市鶴木清方記念美術館
山梨県立文学館 / 甲州市塩山常泉寺 / 新宿あいえお / 東宝舞台(株)
(株)アイロリ・コミュニケーションズ・エンタテインメント / (有)クライム・シンク